

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月24日

杉並中央幼稚園

## 1 本園の教育目標

生命を生かし切ることができる子どもを育てること

強く、正しく、明るい子どもを育てること

優しさ、思いやり、生命を大事にする心を、自ら育てられるようになること

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

園児の健康と成長発達を守り、豊かな感性を育てる体験教育の実施を目指す。

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	戸外遊び工夫（コロナによる外出行事自粛対策）	A	自然を観察する場、農作物栽培などを自ら経験する感覚教育を通して、生命を大切にすることを養う
2	健康な体づくり（コロナによる体力低下対策）	B	運動感覚を養い、健康な体力づくりに努める
3	行事の安全な実施（園児・保護者孤立対策）	A	成長の通過点となるような行事の実施により、楽しみながら季節感や日本の文化を学ぶ機会とする

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
A	感染症対策を徹底しながらも必要な規制のみとし、園児が楽しみながら成長発達できるよう工夫してきた。園児も散発的にコロナ発症者があったが、感染が広がることはなく、地域に開かれた保育や行事活動を実施することができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育の専門性向上と質の高い教育の実践	研修や定期的な話し合いにより園児に対する理解を深めるとともに、教育課程の見直しと改善を図る
2	戸外遊びと健康な体づくりの継続	自然と触れ合う戸外遊び、農耕物栽培体験、体操教育や朝の運動を継続し、より楽しいものとなるよう工夫する
3	預り保育の安全と充実	コロナの影響が減少し再び保護者ニーズが高まってきているため、少人数部屋にて安全に実施する

## 6 学校関係者の評価

地域に密着した幼稚園として、地元敬老会との行事や、餅つきなどの日本文化に触れる行事があり、子どもによってとても良い機会となりました。野菜作りや収穫、クイズなどで学んだことを楽しそうに話しながら、苦手だった野菜を食べるようになり、子どもの成長の機会となっていることに改めて感謝いたします。